

弾性ゴムチップ舗装材 India rubber chip pavement material

# ヴェリーコート シリーズ

近年、余暇時間の増大や、健康志向の高まりと共に、スポーツ人口は毎年増加し続けています。健全な肉体のもと、人生をエンジョイしようとするなかで、スポーツ(運動)の果す役割は大きなものがあり、それを支える施設の充実が益々必要となってきています。とりわけ足元の床材の良し悪しはその成果を大きく左右します。

ボースヴェリーコートシリーズは、発売以来10数年の実績とたゆまぬ改良研究により、常に安全で使い易い床を提供し続け多くの愛用者にご好評を頂いています。



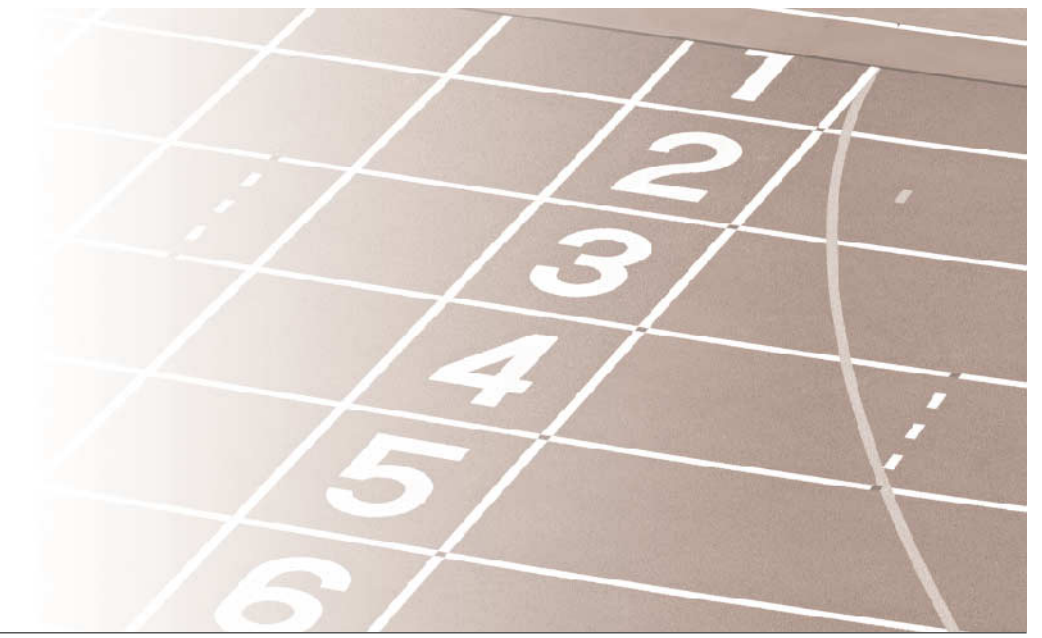
ヴェリーコート



ヴェリーコートF



ヴェリーコートP



## ヴェリーコート

ゴルフ場、プールサイド、多目的コート舗装

▶▶▶ P3

## ヴェリーコートF

各種コート、各種スポーツ施設用弾性床

▶▶▶ P4

## ヴェリーコートP

ゴルフ場クラブハウス、スポーツ施設等の弾性床防水

▶▶▶ P5

## ヴェリーコートシリーズ施工上の注意

▶▶▶ P6

### COLOR SAMPLE 工法色見本

▶▶ 着色タイプ



ブラック



グリーン



ブラウン

▶▶ カラーチップ



BR2



R2



LBR2



BE233



Y2



G4



DG4



G2



GR2



GR4

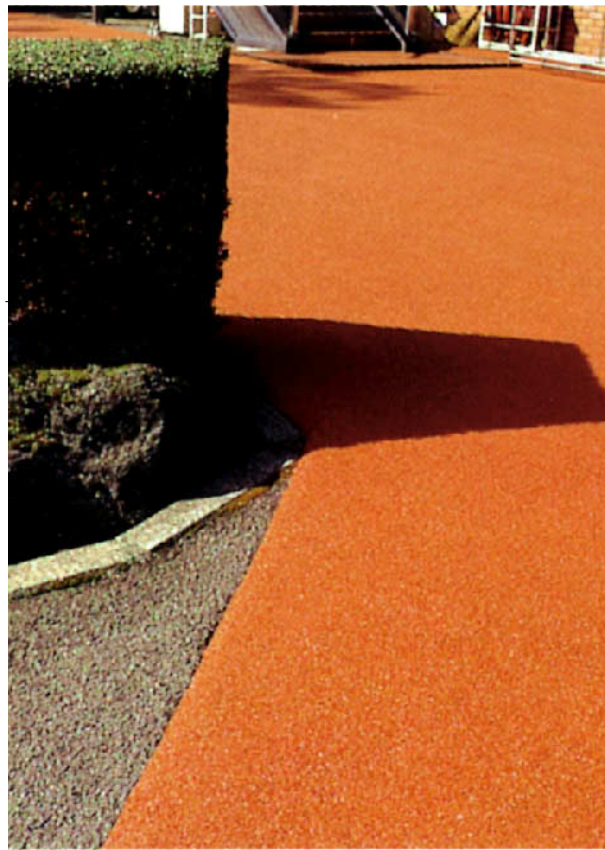


BL1



BL3

この見本は印刷ですので、実際と多少異なる場合があります。  
ご希望の実物見本をご請求下さい。



# ヴェリーコート (着色タイプ・カラーチップタイプ)

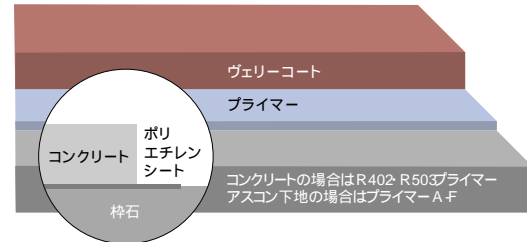
ゴルフ場、多目的コート舗装、プールサイド、遊戯場

ヴェリーコートはウレタンをヴァインダーとしてゴムチップをモルタル状にし均一に塗り広げた、ゴム弾性と通気層のある舗装材です。その為クッション性に富み足にピッタリとフィットし良好な歩行感が得られます。更には、透水性吸音性と言った数々の特長を有する、極めて優れた舗装材です。

## ≫特長

- ・弾力性があり、歩行感が良い(万一転んでもケガしにくい)
- ・断熱保温性があり、屋上にあつては断熱効果、床にあつては結露防止と保温性としての効果がある。
- ・吸音性があり、床音が響かない。
- ・透水性があり降雨時水溜まりが出来ない。
- ・伸縮性に富むので下地クラックを吸収する。

## ≫施工図



## ≫標準使用量 (1m<sup>2</sup>あたり)

施工厚み (m/m)	ゴムチップ (kg)	主材 (kg)	ヴェリーコート助材 (kg)		着色剤 (kg)
			M(15)	W(5)	
10	8.0k	2.0	0.18	0.3	0.5~0.7
15	12.0k	3.0	0.24	0.43	0.75~1.05
20	16.0k	4.0	0.32	0.58	1.0~1.4
25	20.0k	5.0	0.4	0.72	1.25~1.75

着色タイプの場合

## ≫適用下地

- ・モルタル・コンクリート・アスコン・合板

## ≫性状 (ヴェリーコートVC-100)

試験項目	規格値	試験方法
外観	微白濁黄色液体	目視
粘度 (mPa's 25)	3,600~4,800	JIS K 7117 準拠
比重 (25)	1.04~1.14	JIS K 7117 準拠

## ≫基本物性 (ヴェリーコートVC-100)

項目	測定値 (23)
Pot Life (分)	60以内
引張強さ (N/mm <sup>2</sup> )	1.14
伸び率 (%)	72



# ヴェリーコートF (断熱通気防水タイプ)

各種スポーツ施設用弾性床、プールサイド、マンション通路、屋上防水

ヴェリーコートFは、ヴェリーコートの持つ各種特長を生かし、表面の塗膜層の機能を強化し、価値を最大限に高めます。

## ≫特長

- ・ゴムチップ層が通気帯となり、塗膜のふくれが発生しない。
- ・下地亀裂が発生しても、ゴムチップ層が吸収し表層が破断しない。
- ・歩行感に優れたスポーツコートとして足腰への負担が少ない。
- ・吸音性があり、階上、屋上の音を階下に響かせない。
- ・断熱効果があり、階下の室温を下げる。
- ・防水層として、信頼性の高い工法となる。

## ≫施工図



## ≫標準使用量 (1m<sup>2</sup>あたり) (ヴェリーコートVC-100F)

工程	類別	使用量 (kg/m <sup>2</sup> )	厚み (m/m)
プライマー	402-503	0.2	-
ヴェリーコートモルタル	ヴェリーコート	8.0	8
アンダーパテコート	ウレボンR200(立上用)	1~1.5	0.5
上塗り	パールフロア	2.5	2
トップコート仕上げ	トップコートG又はウレボン514	0.2	-

## ≫適用下地

- ・モルタル・コンクリート

## ≫性状 (パールフロアPF2000)

試験項目	規格値	試験方法
外観	各色粘調体	目視
粘度	8,500	20
比重	1.2	mPa's

## ≫基本物性 (パールフロアPF2000)

項目	測定値 (20)
硬度 (Shore A)	89
抗張力 (N/mm <sup>2</sup> )	8.2
伸び (%)	247
引裂力 (N/mm)	38



# ヴェリーコートP (歩行用防水層保護タイプ)

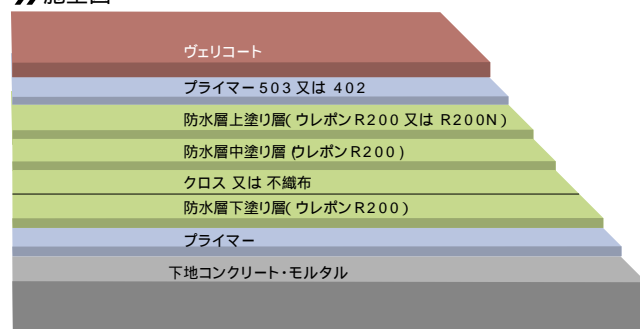
防水層兼用各種コート、スポーツ施設、遊技物等

屋上防水工事では露出工法は歩行が出来ない為利用上の制約があり、何かと不便でした。ヴェリーコートP工法ではその欠点を補い完全歩行が可能となり各種運動施設や遊技物としての利用が出来るようになりました。

## ≫特長

- ・防水層を多目的に活用できる。
- ・透水性があり、水溜まりが出来ず、降雨後すぐに使用出来る。
- ・断熱性があり、階下の温度を下げる。
- ・吸音性があり階下に音が響かない。

## ≫施工図



## ≫標準使用量 (ヴェリーコートVC-100P)

工程	種別	使用量( kg / )	厚み( m / m )
プライマー	402・503	0.2	3
防水層下塗り	R200・R200N	0.5	
クロス貼り粘着材			
中塗り	R200・R200N	1.7	3
上塗り	R200・R200N	2.0	
プライマー	402・503		
ヴェリーコート	ヴェリーコート	10	10

## ≫適用下地

- ・モルタル・コンクリート・合板・各種防水層

## ≫性状 (ウレボンR200)

試験項目	企画値	試験方法
外観	各色粘稠体	目視
粘度	9000±3000	mPa・s
比重	1.4	20

## ≫基本物性 (ウレボンR200)

項目	測定値( 23 )
引張強さ( N/mm <sup>2</sup> )	5.0±1
引裂強さ( N/mm )	21.0±2
伸び( % )	650±50

( JBA6021 )



# ヴェリーコートシリーズ・パールフロアーシリーズ 施工上の注意

床は床構造、床下地、床仕上げの各材料が一体となって床を構成している以上、各々の材料が他材料と協調性がなくてはなりません。ウレタン塗床材ヴェリーコート及びパールフロアーは、施工完了後に商品の価値が発揮されるため、その施工においては材料特性とともに施工順序、施工方法を十分に理解しておく必要があります。

## 下地の条件

### ≫1.モルタル・コンクリート下地の場合

- イ.コンクリートは打設後4週以上、モルタルは2週以上の養生をとって下さい。( 20 )
- ロ.十分に乾燥させて下さい。( ケット水分計、含水率 8%以下 )
- ハ.十分に強度が出ている事。
- ニ.水勾配がとれている事。( 透水性下地を除く )
- ホ.平滑で凹凸のない事。

### ≫2.アスファルト下地の場合

- イ.打設直後で油分の多い場合、中性洗剤で脱脂して下さい。
- ロ.下地の転圧が不十分で強度がない場合、再度転圧し十分な強度を出して下さい。

### ≫3.鋼板下地の場合

- イ.サビ、油等汚れがない事。

### ≫4.木下地の場合

- イ.ジョイント部は、隙間のないよう、又段差のないようしっかり固定して下さい。

## 下地の処理

### ≫1.モルタル・コンクリート下地の場合

- イ.下地のレイタンスやぜい弱部分は、ポリッシャーや研磨機等で除去し、健全な下地を出して下さい。
- ロ.モルタルの浮きは削孔しエポキシ注入剤を注入する。又、大きい場合は、ハツリ取ってモルタルで修正する。( この場合、打経用の接着剤を使用する。 )
- ハ.クラックが大きい場合( 1m /m以上 )Vカットしてウレタンシーリングでシールする。

### ≫2.鋼板下地の場合

- イ.サビ、油、汚れを除去した後、直ちに専用プライマーを塗布する。

### ≫3.木下地の場合

- イ.ジョイント部の隙間はウレタンシーリングでシールし、段差はウレタンパテ処理する。

## 使用材料

ヴェリーコート	淡黄色液体	10 kg
ゴムチップ	黒・各色	20 kg
助剤	茶かっ色液体	16 kg
パールフロアー	各色	10 kgx 10 kg /セット
ウレボンR200・R200N	黒・グリーン・グレー	6 kgx 12 kg /セット
ウレボン 514	クリアー	16 kg缶入
着色トナー	各色	3 kg缶入
エストップ#20-#80	ウレタン発泡粉末	12 kg袋入
トップコートG	各色	6 kgx 2 kg /セット
ウレボンR200・R200N 立上り用	黒・グリーン・グレー	7 kgx 14 kg /セット
ウレボンメッシュ 又は サンキープV		100m巻
エンボス	各色	2 kgx 3 kg /セット

助剤は低温時、硬化促進剤として使用する。

## 標準仕様

### ≫1.プライマー

下地	適用プライマー	塗布量( kg /m <sup>2</sup> )	指触乾燥
モルタル	プライマー-503	0.2	2h
コンクリート	又は 402	"	"
コンパネ		"	"
アスファルト	AFプライマー	"	"
鋼板	ウォッシュプライマー	0.15	"

ローラー、刷毛又はスプレーで均一に塗布する。下地が粗面( ポーラス )で吸収が激しい場合は、1回目のプライマーが指触乾燥後、再度塗布して下さい。

### ≫2.調合

- イ.ヴェリーコート  
主剤とゴムチップを所定の割合でモルタルミキサーを使用し混合する。着色仕上げの場合はトナーを主剤に添加する。
- ロ.ウレボンR200・R200N、立上り用  
主剤と硬化剤の上部を開缶し、硬化剤を攪拌機で良く攪拌する。次に、主剤を硬化剤の中に混入し、両者が均一になるまで良く混合攪拌する。攪拌時間は、2分～3分
- ハ.パールフロアー  
主剤と硬化剤の上部を開缶し、別に用意した容器に主剤と硬化剤を混入し、両者が均一になるまで良く混合攪拌する。攪拌時間は、2分～3分

### ≫3.施工

- イ.2で調合したヴェリーコートを定木等を用いて、厚みを確保する。最初に木ゴテ又は、トンボ等で均一にならし次に熱ゴテや熱ローラー等で転圧し平滑に仕上げる。熱機具の温度は60～70が良い。
- ロ.2で調合したウレボンR200、パールフロアー等をコテ、ゴムベラで均一に仕上げる。

### ≫4.トップコート仕上げ

- トップコートG又はウレボン514とトナーを所定の割合で混合しローラー、刷毛又は吹付けガンで均一に仕上げる。  
( 塗布量 0.2 kg /m<sup>2</sup> )